

報道関係各位

2019年4月24日
株式会社クロス・マーケティング

オリンピックへの興味度、会場観戦意向ともに減少傾向 エクストリームスポーツへの注目がうかがえる

— 2020年 東京オリンピックに関する調査(2019年度版) —

株式会社クロス・マーケティング(本社:東京都新宿区、代表取締役社長:五十嵐 幹)は、全国47都道府県に在住する20~69歳の男女を対象に「2020年 東京オリンピックに関するアンケート(2019年度版)」を実施しました。

■調査目的

2020年東京オリンピックの公式チケット抽選受付が5月9日に決まり、来年の開催への機運が高まっています。そこで、オリンピックへの関心の高さを、競技ごとの比較や、それぞれの競技に対してどのような人が関心をもっているのか明らかにすることを目的に調査を実施しました。また、当社が2017年と2018年に実施した調査結果と比較することで、経年での関心の変化についても調査しました。

◆自主調査レポートの続きはこちらへ ⇒ <https://www.cross-m.co.jp/report/sports/ol20190424/>

■調査結果 (一部抜粋)

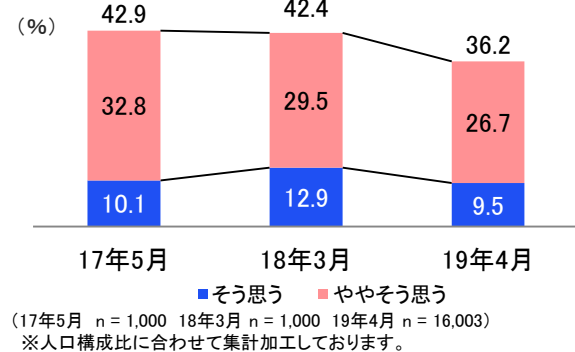
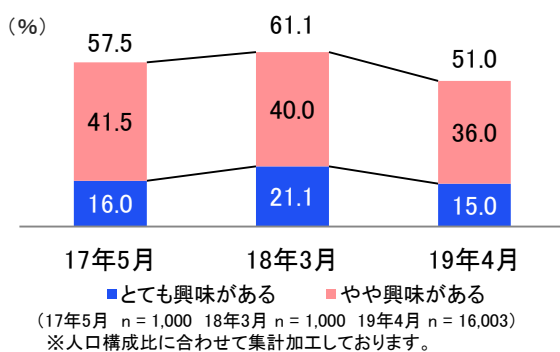
- ✓ オリンピックへの興味度を経年比較すると、今回の調査では「興味あり」が18年3月から10.1ポイント下がって51.0%となった。また、スポーツの会場観戦意向として「テレビなどで観るよりも実際に観たい」は36.2%で減少傾向にある。<図1-1、図1-2>
- ✓ SNS空間内で東京オリンピックに対する関心の推移を見るために、ツイッターで「東京オリンピック」を含む直近3年間のツイート件数の分析を行った。リオ2016、平昌2018などオリンピック大会開催時期や「東京2020大会ボランティア」の告知がされるなど特定の時期で顕著な増加がみられる。2019年2月以降で「東京オリンピック」に関するツイート件数は7,000件前後を推移。SNS上でオリンピックへの盛り上がり高めるには、東京オリンピック開催に関するリリース情報を継続的に告知することや、大きなスポーツイベントとのタイアップによるプロモーションなどが重要であると考えられる。<図2>
- ✓ テレビ(生中継)で試合を観たことがある競技の上位は野球、サッカー、ゴルフ。テレビ(生中継)で試合を観たことがある人の中で直近1年以内に観たことがある割合が高いのはテニス、ゴルフ、卓球。サーフィン、スケートボード、スポーツクライミングなどのエクストリームスポーツは、テレビ観戦経験率における直近1年以内での観戦経験率が高いことから、近年注目が高まっていることがうかがえる。<図3>

※エクストリームスポーツとは、高さや速さを競う競技のうち危険を伴うスポーツを指す言葉。オリンピック競技としては、スケートボードやサーフィン、スポーツクライミングなどが該当する。

<図1-1> オリンピックへの興味度

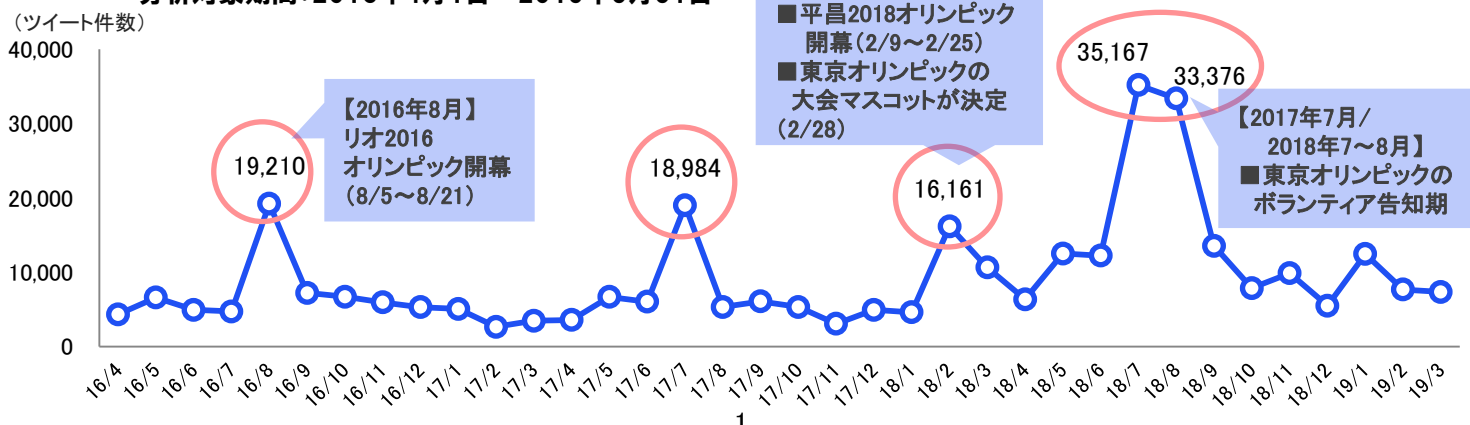
<図1-2> スポーツ会場観戦意向

スポーツは、テレビなどで観るよりも実際に観たい

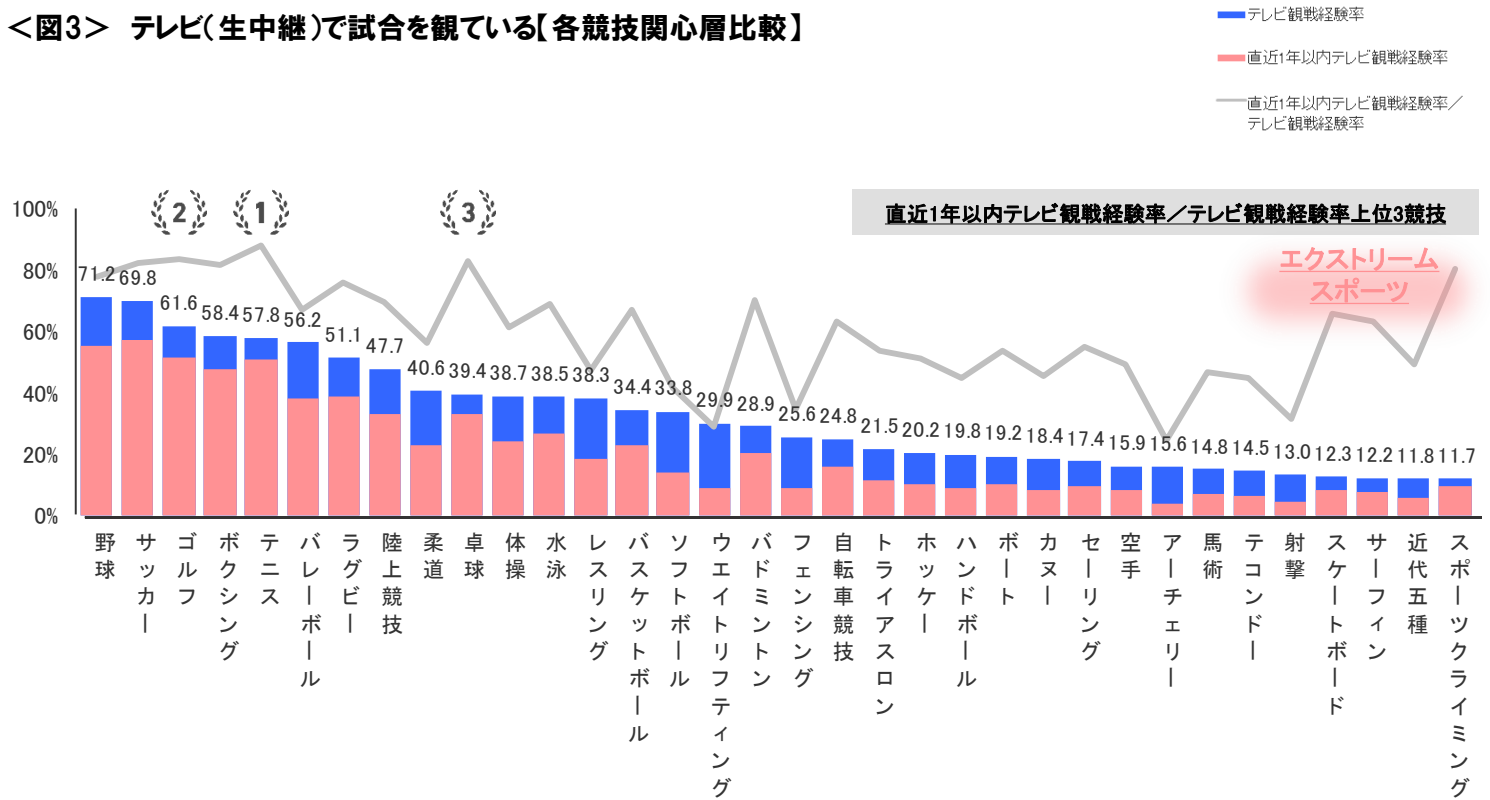


<図2> 「東京オリンピック」を含むツイート件数の推移分析
分析対象期間:2016年4月1日~2019年3月31日

※ツイート件数は1/10サンプリングデータ



<図3> テレビ(生中継)で試合を観ている【各競技関心層比較】



※【各競技関心層ベース】
テレビ観戦経験率の値を基準に降順並び替え

■全調査内容

- 属性設問 (性別・年代・居住地域・婚姻状況・子どもの有無・同居者・職業・個人年収・世帯年収)
- 趣味に対する態度について(消費行動・趣味の取り組み方・興味関心分野・趣味にかかる費用)
- オリンピックについて(オリンピックへの興味・スポーツイベントへの意識・オリンピック関連イベント参加有無)
- 東京オリンピックについて(東京オリンピックでしたいこと・期待する点)
- スポーツについて(スポーツの好きな点・興味のある/行っている/観戦したいスポーツ)
- 興味のあるスポーツについて(関わり方・観戦のきっかけ・観戦同行者・観戦頻度・魅力・特徴・今後の観戦意向・情報取得媒体・自身のプレイ経験)

◆全調査項目のレポートダウンロードはこちらから <https://www.cross-m.co.jp/report/sports/ol20190424/>

■調査概要

調査手法 : インターネットリサーチ
 調査地域 : 全国47都道府県
 調査対象 : 20~69歳の男女
 調査期間 : 2019年3月18日(月)~2019年3月20日(水)
 有効回答数 : 28,848サンプル

※調査結果は、端数処理のため構成比が100%にならない場合があります。

【会社概要】

会社名 : 株式会社クロス・マーケティング <http://www.cross-m.co.jp/>
 所在地 : 東京都新宿区西新宿3-20-2 東京オペラシティタワー24F
 設立 : 2003年4月1日
 代表者 : 代表取締役社長兼CEO 五十嵐 幹
 事業内容 : マーケティングリサーチ事業

◆本件に関する報道関係からのお問い合わせ先◆

広報担当 : 横田(よこた) TEL : 03-6859-2252 FAX : 03-6859-2275
 E-mail : pr-cm@cross-m.co.jp お問い合わせ : https://www.cross-m.co.jp/cromegane/cromegane_media/

《引用・転載時のクレジット表記のお願い》

本リリースの引用・転載時には、必ず当社クレジットを明記いただけますようお願い申し上げます。

<例>「マーケティング・リサーチ会社のクロス・マーケティングが実施した調査によると・・・」